

創立 1964年 6月16日
 発証 1964年10月19日
 第2510地区 第11グループ



2003~2004
 Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

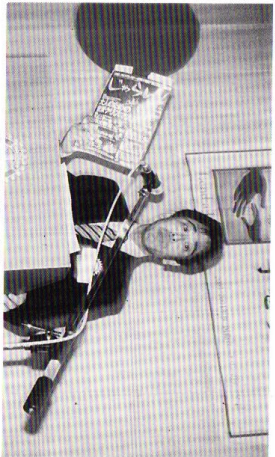


2003~2004年度
 R.I.会旗
 ショカツB・ロミアパ
 国際ロータリー
 『手を貸そう』

四つのテスト

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

北村 祐治 会長様へ 『YES, I DO!』 さあ、行動しよう!



12月10日卓話 石川 信博氏

《第1948回例会》 第24号 12月17日(水)

本日のプログラム

夜間例会「クリスマス家族会」

函館国際ホテル 午後6時30分～

★会長 北村祐治(特専) ★幹事 柴崎晃

例会場：函館国際ホテル 〒104-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
 例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

http://www.shaddy.gr.jp/13163-900/
サラダ館 HAKODATE 富岡店



GAL CORNER 富岡店内
 ☎0138-41-1001
 FAX.0138-41-1041

〒041-0811 函館市富岡町1-43-1
 営業時間/AM10:00-PM7:00

(広告掲載：北村 祐治 会長)

函館北ロータリークラブはweb(ホームページ)を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/
 e-mail: rsh@rotary@hakodate-north.org

2003-04年度 函館北ロータリークラブの事業目標

1. 一般会社の健全化——創立50周年に向けて
2. 親睦「この方と出会うよかった」——2003年9月21日創立記念式典・親睦会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕—— *地域社会：市入交通安全車(1500台)の寄贈(記念事業)
 *ロータリーによる新世代への教育啓蒙・援助啓蒙を目指す。
 *子供・若者・職業界委員会を通じて地域社会に貢献する
4. インターネット・コミュニケーション・サービス・ショウアップ・カウチング・セミナー・Cを通じて、小学校の児童啓蒙活動のため、本報・机・本1300冊などの物品を寄贈する。J
 *国際奉仕：国際奉仕活動の「手」を貸すように、二十倍にたかまらします。
 *他国では、R.I.3400地区インフラ・ショウアップ・カウチング・セミナー・Cを通じて、小学校の児童啓蒙活動のため、本報・机・本1300冊などの物品を寄贈する。J
 *ロータリーによる新世代への教育啓蒙・援助啓蒙を目指す。
 *子供・若者・職業界委員会を通じて地域社会に貢献する
5. 反人の活動に好意を払い、反人の成長を願って、「手」を貸すように、
 ——Land a Hand and Take Action with our heartfelt care
 ——for Rotary's international vision!

◎11月26日出席報告

会 員	40名	出席率対象会員		39名
		出席規定免除会員	出席率規定免除会員	
当日出席	26名	当日出席	13名	
他クラブ出席	5名	出席合計	31名	
出席率				81.58%

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・12月24日
プログラム

会員卓話「イタリヤ旅行記」
 函館ハーバービューホテル 取締役社長 茂木 正雄 会員

◎親睦活動委員会 渡部 二康 委員

ニコニコBOX投入報告

北村 会長……次週クリスマス家族会たくさんの方々をお待ちします。

柴崎 幹事……BOXに協力。

小笠原会員…… ”

中野 会員……出張で早退します。

鈴木 会員……お久しぶりです。

松橋 会員……リクルート北海道じやらの石川様を歓迎して。

◎卓話 「現代旅行事情」

株式会社リクルート北海道じやらん 営業統括部長 石川 信博 氏

株式会社リクルート北海道じやらはリクルートの1000出資の子会社でありまして、20代から30代をターゲットにした毎月発行の旅行雑誌「じやらん」や、さらに上の世代の方を対象とした旅行雑誌「きままにいい旅」などを発行しています。今日は「じやらん」が売れるわけ』と題して、お話しさせていただきます。

まず、発行部数ですが、6年前は11.2万部であったものが、現在では17万部と大幅に発行部数をのばしております。雑誌の分類で発行部数が一番多いものは、いわゆるマンガ雑誌の少年ジャンプですが、それ以外でいえば、「週刊現代」や「週刊ポスト」などです。これらは日本全体で言えばおよそ300万部の発行部数で、北海道がそのうち4%程度といわれています。そうすると北海道内では約12万部となり、「じやらん」がいかに多くの方にお読みいただいているかということが、お分かりいただけると思います。

ビデオリサーチ社が行っている「閲読率」で言えば、少年ジャンプ11.3%、週刊ポストの9.5%、女性セブンの8.2%に対して「じやらん」は23.1%と4年連続全国No.1を記録しております。

では、なぜ「じやらん」がこのような方にお読みいただいているのかと申しますと、実は発行して今年で10年になるのですが、当初本社のリクルートでも、「北海道だけの旅行雑誌なんて売れる訳がない、どうせ失敗するんだろう」と思われておりまし

た。しかしながら、「ターゲットを明確に、その志向にあった本づくり」を目指して、調査を進めたのですが、その過程で旅行へいく場所の決定権はほぼ女性が握っている、そして「お父さん、今度の旅行はここに決めたからね」と言われ、お父さん方男性が「うん、わかった」となる。そこで、20代～30代の女性を対象にさらに、徹底的に調査を進めました。そこでできたキーワードが「ドライブ、温泉、グルメ」でした。北海道の方々は90%以上の方が車での旅行です。いままではドライブにあって、さあ昼ごはん、何食べよう」となったとき、地元ドライブインなんかに寄る。その名物料理なんかたべるが、まあこんなものか、という具合でした。そこで、ここに行けばこれが食べられる、この道をこう進めばこっちを見学できる、などといった、いわゆる旅行でニュアリス的な雑誌を作成しました。当時、リニューアル世代などいわれた方々が、われわれが載せた記事のとおりドライブし、食事をした。そういう使われ方をしました。

また、雑誌に掲載している情報ですが、1冊で約500～700ほどの情報が載っております。私の仕事はそういった情報を載せるお客さんを探すことがメインなんですけど、「700件も情報があると、うちの情報なんて埋もれてしまって読まれないよ」とおっしゃる方もいます。たしかに、700件の情報の中の1件よりも10件の情報の中の1件の方が、読者に読まれる確率は高くなりますが、本を買う方からすれば、10件の情報しかない本よりもやはり700軒の情報が載っている本を買うわけです。情報がいくら認識しやすくて、手にとって読んでもらわないことには始まりません。そういう意味でいままでは見向きもされなかった真道沿いのお店なども積極的に掲載し、活用していただいています。

発行に当たって気をつけている点は「情報の具体性」です。従来は4名1室の料金を「一室○○○円」と掲載していましたが、「2名でいったら、書いてあった料金とちがう」といったクレームがきました。そこで、その部屋を2名で使用したらいくらなのか、3名ならいくらなのかをきちんと表示することにしました。また、最近の特徴として「ポツキリ料金」、つまり泊って、食べて、これこれして、全部含めて例えば11,000円というようなプランが人気があります。

読者のメリットになる情報、つまりクーポン券(割引券)も載せております。クーポン券をだせばジュース1杯無料です、といったものですが、このクーポン券を大変ご活用いただいています。